



DISCLOSURE 2015・上半期

《経営内容開示》
～平成27年9月末現在～



復興支援役職員旅行・義捐金贈呈式

理事長あいさつ

魚沼の
塩沢信用組合
理事長 小野澤 一成



私共は、東北の復興を願い、春から復興支援バザール店を「軽トラ市」に出店し、営業店単位でもチャリティを実施して参りました。

「東北のことを忘れない事」「東北へ行くことが支援の一環」ということから、このたび「東北の復興支援職員旅行と義捐金贈呈式」を、宮城県信用組合協会の会長と全信組連仙台支店の支店長を来賓にお招きし、石巻グランドホテルにて開催しました。

仙台から石巻と女川の被災地を訪問し、地元住民が防波堤の是非について、喧喧囂囂と議論した末の『復興計画』を目の当たりにすることが出来ました。

石巻商工信用組合の理事長様と常務理事様のおかげで、十数回訪問している旅行会社の乗務員さんたちが感心するほど、内容の濃い説明を受けることが出来ました。

初めて訪れる職員が多い中、とても貴重な体験ができ、多くの感動をいただけた大変有意義な旅行でありました。

私たちは、私たちにできること、それは信用組合を通じた社会貢献であり、自分たちの仕事に、精一杯取り組むことだと考えております。

被災者に恥じることなく、日々を大切に、悔いのないよう、地元経済の活性化のために、信用組合の仕事に一生懸命に取り組む所存でございます。

地元になくてはならない金融機関として、皆様方から、今後とも変わらぬご支援を賜りますことをお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

以上

平成27年度「半期」事業報告 (自：平成27年4月1日～至：平成27年9月30日まで)

事業の概況

平成27年度の「経営の基本方針」は、仕事と雇用を産みだし賃金が安定すれば、地域は活性化し、人口の減少にも歯止めがかけられると信じて、**地元雇用創出事業**へ着手しました。

地元企業へ「1社1人、100社100人」の雇用創出を呼びかけて、実際にサポート契約先100社の従業員数が今年4月と来春4月を比較して「100人以上」増加することを目標数字としてスタートしました。

当組合は、2020年までに20名の職員を採用することを内外に向けて公表しており、自らも現在の50人を70人体制に増やす計画としました。

従業員の健康管理に役立つよう「塩分測定器」を100社へ進呈、協会けんぽ新潟支部と提携し、いきいき健康定期預金の第2弾を発売しました。

当組合の「職域サポート契約」推進事業は、従業員満足度を第一に掲げ、企業業績を向上させ、社員の採用から定着までも協力していく事業です。

社員の健康管理へ関与するデータヘルス計画を推進していく予定です。

地元消費購買促進事業は、地元での買い物を推奨するために「チラシ」を作成し、その有効性を呼びかけ、信栄会員の中から、毎月9～10社程度、FM雪国で自社の商品やサービスなどのCMを放送しています。

当組合は、平成23年から「地域還元型特別賞与」を支給しており、職員は、上乘せ支給された「3万円」を

必ず勤務地で消費しています。

ガバナンスの強化としては、3年に一度の「総代選挙」で、組合員の構成比に近付ける「年代別」と「男女別」を実現しました。

通常総代会にて、理事改選と監事選任を決議し、常勤理事3名に対して、職員外理事5名が選任され、総体の過半数以上を占めることから、社外取締役の機能の充実を果たし、このたび初の女性監事が誕生しました。

その内容は、すべて7月に作成したディスクロージャー誌へ顔写真入りで紹介させていただきました。

永年当組合に功績のあった、役員と総代の「退任式並びに表彰式」を来賓多数お招きして盛大に開催させていただきました。

人にやさしい経営としては、6月に城南信用金庫と東京東信用金庫を訪問し、7月に飛騨信用組合と大垣共立銀行を訪問し、人にやさしい経営と人にやさしい店舗づくりを学ぶことができました。

当組合の石打支店の新築計画に活かしてまいります。

4月に地元小中学校の新一年生へ、入学記念品を差し上げ、小学校では、特別授業として「金銭教育」を実施、9月に南魚沼市立総合支援学校へ洗濯乾燥機や検査器具などを寄付させていただきました。

「特別定期預金」は、第三弾となり、8月末の販売予定が、好評により、6月末で5億円が完売しました。

来年も4月から8月に、募集額5億円で「第四弾」を実施します。

「魚沼の経営塾」第三期は、12名の女性塾生が加わり「雪国しぐさ・譲り合い・レディースファースト」を掲げて、人にやさしい文化を発信し、9月に県内優良企業の視察研修旅行を実施しました。

来期は、「魚沼の次代を担う会」（経営塾OB会）として、若き経営者の会を発足させる予定です。

事業性評価に基づく融資は、6月に山形県の北郡信用組合へ招かれて講演会を行い、7月に金融専門誌で当組合の取組が取り上げられて、大変に反響を呼び、多くの金融機関から問い合わせをいただきました。

10月以降も各金融機関様から講演会の依頼や視察の依頼を受けております。

「年金友の会」では、3年に一度の「大地の芸術祭」を見学するツアーを企画し、参加した会員から大変喜ばれました。

5月の総代地区会議では、日銀からの貸出支援資金4億円を受けて、当組合の資金6億円と合わせて、10億円を組合員の皆様へ資金供給することをご案内しましたが、9月末までに、10億円を資金提供することが出来ました。

9月末の貸出金残高は、170億2千万円であり、半年前と比較して8億円、1年前と比較して11億円増加しました。

貸出先数も半期で、31先増加、毎週水曜日の延長デーの融資相談件数は、半年で539件のご利用をいただき、1日当たり平均22件、多い時には、並んで待っていただくほどに浸透しました。

9月末の預積金残高は、308億円であり、半年前と比較して、4億円増加しました。

半期決算の最終利益は、59百万円で、前年同期と比較して、20百万円の増益となりました。

魚沼の信用組合として頼られる存在となるために、事務ミス等を無くし、さらなる精進を重ねて、きめ細かな営業を展開してまいります。

私共、役員職員一同、お客様のために、毎日一生懸命に営業いたしますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますことをお願い申し上げ、半期の「事業報告」とさせていただきます。

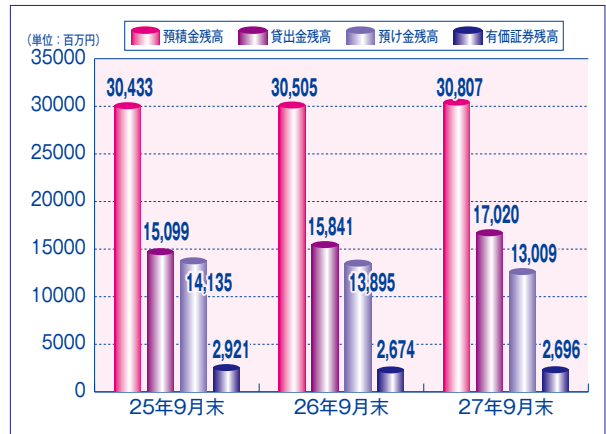
以 上

平成27年度「半期決算」の報告

主要勘定の推移

(単位:百万円)

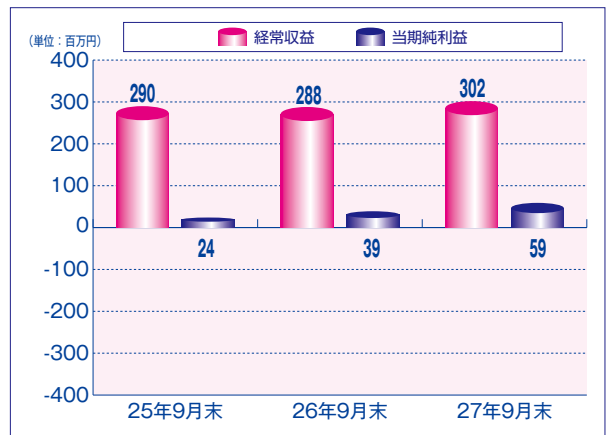
	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金残高	30,433	30,505	30,807
貸出金残高	15,099	15,841	17,020
預け金残高	14,135	13,895	13,009
有価証券残高	2,921	2,674	2,696



収益等の推移

(単位:百万円)

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
経常収益	290	288	302
経常利益	25	39	59
当期純利益	24	39	59

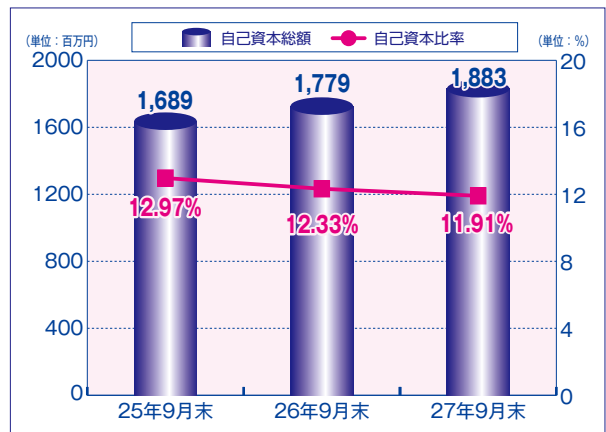


自己資本比率・自己資本額の推移

(単位:百万円)

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
自己資本総額	1,689	1,779	1,883
自己資本比率	12.97%	12.33%	11.91%

※自己資本比率の算出方法を定めた法律が改正され、26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、26年9月より新告示に基づく開示を行っております。

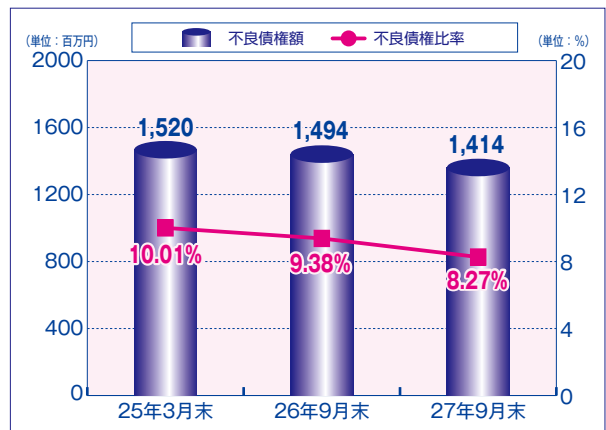


不良債権比率・不良債権額の推移

【金融再生法開示債権の推移】

(単位:百万円)

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
不良債権額	1,520	1,494	1,414
不良債権比率	10.01%	9.38%	8.27%



金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額の状況

(単位:千円)

区 分	年度別	債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A)-(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	25年9月	474,587	236,263	238,324	474,587	100.00%	100.00%
	26年9月	464,501	204,480	260,020	464,501	100.00%	100.00%
	27年9月	425,579	135,004	290,575	425,579	100.00%	100.00%
危険債権	25年9月	1,008,068	431,746	548,191	979,938	97.21%	95.12%
	26年9月	993,604	411,137	544,171	955,309	96.15%	93.43%
	27年9月	872,204	365,077	479,137	844,215	96.79%	94.48%
要管理債権	25年9月	38,282	21,894	3,441	25,335	66.18%	21.00%
	26年9月	36,468	18,293	3,297	21,590	59.20%	18.14%
	27年9月	116,273	35,980	7,685	43,665	37.55%	9.57%
不良債権計	25年9月	1,520,938	689,903	789,957	1,479,861	97.30%	95.06%
	26年9月	1,494,574	633,911	807,489	1,441,400	96.44%	93.82%
	27年9月	1,414,057	536,061	777,397	1,313,459	92.88%	88.54%
正常債権	25年9月	13,667,819					
	26年9月	14,428,919					
	27年9月	15,683,198					
合 計	25年9月	15,188,757					
	26年9月	15,923,494					
	27年9月	17,097,256					

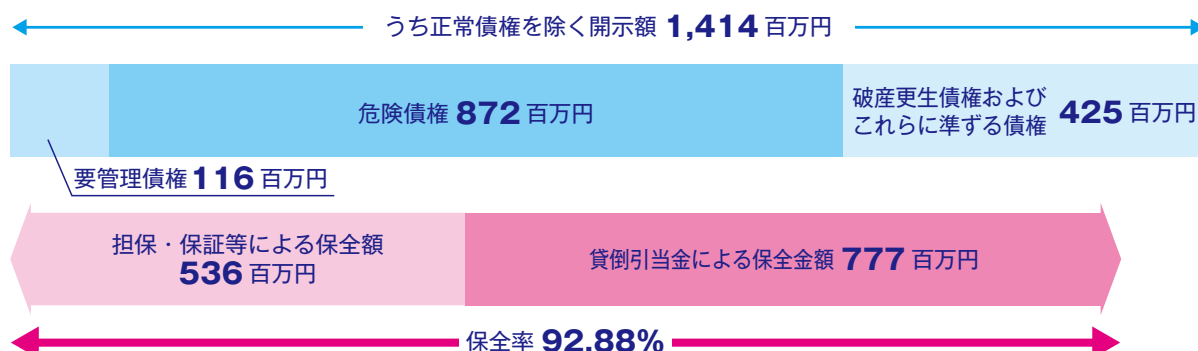
不良債権比率

25年9月	10.01%
26年9月	9.38%
27年9月	8.27%

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3か月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

●金融再生法開示債権 17,097百万円

(平成27年9月末)



有価証券の時価等情報

1. 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

項 目	26年9月			27年9月		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—
	そ の 他	100	103	3	—	—
	小 計	100	103	3	—	—
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—
	そ の 他	400	384	▲ 15	—	—
	小 計	400	384	▲ 15	—	—
合 計	500	487	▲ 12	—	—	—

- (注) 1. 時価は、平成27年9月末における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」には政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等であります。

2. その他有価証券

(単位:百万円)

項 目	26年9月			27年9月			
	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	
	債 券	1,894	2,056	162	1,697	1,863	165
	国 債	1,498	1,640	141	1,697	1,863	165
	地 方 債	—	—	—	—	—	—
	社 債	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	395	416	21	486	529	43
	小 計	1,894	2,056	162	2,184	2,393	208
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	
	債 券	—	—	—	—	—	
	国 債	—	—	—	—	—	
	地 方 債	—	—	—	—	—	
	社 債	—	—	—	—	—	
	そ の 他	102	102	▲ 0	497	473	▲ 23
小 計	102	102	▲ 0	497	473	▲ 23	
合 計	1,996	2,158	162	2,681	2,867	185	

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、平成27年9月末における市場価格等に基づいております。
 2. 「社債」には政府保証債、公社公団債、金融債、事業債が含まれます。
 3. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等であります。

3. 時価評価されていない有価証券の主な内容及び貸借対照表計上額

(単位:百万円)

項 目	26年9月 貸借対照表計上額	27年9月 貸借対照表計上額
そ の 他 有 価 証 券	15	15
非 上 場 株 式	15	15
非 上 場 外 国 証 券	—	—

地域貢献に関する情報開示

●地域に貢献するしおしの経営姿勢

当組合は、新潟県南部の魚沼エリアを営業区域とし、地元の中小零細事業者や住民が組合員となって、お互い助け合い、発展していくという相互扶助の精神に基づき運営されている協同組合組織金融機関です。

中小零細事業者や住民一人一人の顔が見えるきめの細かな取引を基本としており、常に組合員の事業の発展や生活の質の向上に貢献する為、組合員の利益を第一に考えることを基本としております。

また、地域社会の一員として、当組合の経営資源を活用し、地域社会の生活の質や文化の向上に積極的に取り組んでおります。

これからも、組合員の豊かな暮らしづくりに奉仕するために、円滑な資金供給と金融サービスを提供していくことはもちろんのこと、文化的・社会的貢献活動を通じ、組合員の暮らしにうおいを与え、地元振興に積極的に資する、地元の金融機関として在り続けます。

※「経営革新等支援機関」の認定を平成24年11月5日に受け、中小企業の経営課題に対応するために財務内容等の経営状況の分析や事業計画の策定支援・実行支援等を行うための体制整備を図っています。

又、中小企業の経営支援を目的に、本部内に、中小企業支援委員会を組織し(株)タナベ経営との連携による「魚沼の経営塾」を立ち上げ、経営力強化に向けて年4回のセミナーと終了後の異業種交流会を開催。また「百聞は一見にしかず」をテーマとした優良企業視察旅行も実施致しております。第3期塾生は平均年齢35歳の若き経営者50社50名の内、女性塾生が12名参加。お互いに切磋琢磨しながら研鑽しております。なお第3期が修了した時点で、これまでの修了生を対象に「魚沼の次代を担う会」を結成致します。総勢150名の若手経営者が集まり、魚沼の明るい未来を切り拓いていきます。

●融資を通じた地域貢献

地元中小企業及び個人のお客様をはじめとする地域への円滑な資金供給を重要な使命と捉え、新商品の提供などを通じて、地域のお客様の資金のニーズにお応えします。

貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円、%)

業 種 別	26年9月		27年9月	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
製 造 業	871	5.5	975	5.7
建 設 業	1,109	7.0	1,386	8.1
卸 売 ・ 小 売 業	1,462	9.2	1,795	10.5
各 種 サ ー ビ ス 業	2,833	17.9	3,251	19.1
そ の 他 の サ ー ビ ス	1,740	11.0	1,765	10.4
小 計	8,017	50.6	9,172	53.9
地 方 公 共 団 体	1,348	8.5	1,162	6.8
個 人 (住 宅 ・ 消 費 ・ 納 税 資 金 等)	6,476	40.9	6,686	39.3
合 計	15,841	100.0	17,020	100.0

※金額は単位未満切り捨て、構成比は単位未満四捨五入で表示しております。

●中小企業等金融円滑化に関する取組み

25年3月末に中小企業金融円滑化法の期限が到来致した後も、取引先に対する融資の取組や方針はなんら変わる事なく、当組合は、公共的使命を全うするため、地域社会・地域経済の発展に貢献することを経営理念に掲げ、創意と工夫を活かして、組合員や地域社会の期待・信頼に応え、適切な情報開示を行うとともに、組合員の皆様との対話により金融の円滑化に取り組んでいます。

中小企業者及び個人のお客様から、貸付けの条件の変更等に関する申込みがあった場合は、当組合の業務の健全かつ適切な運営の確保に留意しつつ、申込みに至った背景や事情、事業や収入に関する将来の見通し、財産その他の状況を総合的に勘案し、貸付けの条件を変更させていただくなど、積極的かつ柔軟に対応しております。

金融円滑化に向けた取組み状況

債務者が中小企業者である場合

		26年3月	26年9月	27年3月	27年9月
貸付の変更等の申込を受けた貸付債権	金額(百万円)	5,347	5,820	6,699	7,058
	件数(件)	368	399	457	498

債務者が住宅資金借入者である場合

		26年3月	26年9月	27年3月	27年9月
貸付の変更等の申込を受けた貸付債権	金額(百万円)	734	761	824	884
	件数(件)	85	88	95	104

27年度「半期決算」の報告

貸借対照表

【資産の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 26年9月	(B) 今期予算 27年9月	(C) 今期実績 27年9月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(資産の部)					
現 金	344	400	585	185	241
預 け 金	13,895	12,501	13,009	508	▲ 886
有 価 証 券	2,674	3,411	2,882	▲ 529	208
国 債	1,640	2,098	1,863	▲ 235	223
社 債	0	0	0	0	0
株 式	15	15	15	0	0
そ の 他 の 証 券	1,018	1,298	1,003	▲ 295	▲ 15
貸 出 金	15,841	16,376	17,020	644	1,179
割 引 手 形	96	105	52	▲ 53	▲ 44
手 形 貸 付	1,700	1,667	1,751	84	51
証 書 貸 付	13,024	13,585	14,208	623	1,184
当 座 貸 越	1,020	1,005	1,008	3	▲ 12
そ の 他 資 産	173	243	245	2	72
全 信 組 連 出 資 金	87	87	87	0	0
有 形 固 定 資 産	414	398	398	0	▲ 16
建 物	159	150	150	0	▲ 9
土 地	229	229	229	0	0
無 形 固 定 資 産	4	4	4	0	0
繰 延 税 金 資 産	0	0	5	5	5
債 務 保 証 見 返	56	50	50	0	▲ 6
貸 倒 引 当 金	▲ 825	▲ 780	▲ 785	▲ 5	40
資産の部合計	32,579	32,603	33,416	813	837

【負債の部ならびに純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 26年9月	(B) 今期予算 27年9月	(C) 今期実績 27年9月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(負債の部)					
預 金 積 金	30,505	30,538	30,807	269	302
流 動 性 預 金	10,466	10,256	11,005	749	539
定 期 預 金	18,505	18,903	18,443	▲ 460	▲ 62
定 期 積 金	1,534	1,377	1,357	▲ 20	▲ 177
借 用 金	0	0	400	400	400
そ の 他 負 債	49	50	51	1	2
職 員 預 り 金	14	15	18	3	4
各 種 引 当 金 等	52	50	48	▲ 2	▲ 4
繰 延 税 金 負 債	39	50	50	0	11
債 務 保 証	56	50	50	0	▲ 6
負債の部合計	30,703	30,738	31,408	670	705
(純資産の部)					
出 資 金	418	415	418	3	0
利 益 剰 余 金	1,339	1,450	1,455	5	116
利 益 準 備 金	412	415	415	0	3
そ の 他 利 益 剰 余 金	927	1,035	1,039	4	112
当 期 未 処 分 剰 余 金	107	125	129	4	22
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	117	0	134	134	17
純資産の部合計	1,876	1,865	2,008	143	132
負債及び純資産の部合計	32,579	32,603	33,416	813	837

損益計算書

【損益の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 26年9月	(B) 今期予算 27年9月	(C) 今期実績 27年9月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経 常 収 益	288	302	302	0	14
資金運用収益	272	287	286	▲ 1	14
貸出金利息	218	228	227	▲ 1	9
預け金利息	25	15	16	1	▲ 9
有価証券利息配当金	23	37	38	1	15
その他の受入利息	4	4	4	0	0
役務取引等収益	15	15	15	0	0
その他業務収益	0	0	0	0	0
その他経常収益	0	0	0	0	0
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0
経 常 費 用	248	246	242	▲ 4	▲ 6
資金調達費用	5	5	5	0	0
預積金利息	5	5	5	0	0
役務取引等費用	16	16	17	1	1
その他業務費用	0	0	0	0	0
経 費	220	222	213	▲ 9	▲ 7
人 件 費	123	131	124	▲ 7	1
物 件 費	92	85	84	▲ 1	▲ 8
税 金	4	5	4	▲ 1	0
その他経常費用	6	0	5	5	▲ 1
貸倒引当金繰入額	5	0	5	5	0
その他の経常費用	0	0	0	0	0
経 常 利 益	39	56	59	3	20
特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	39	56	59	3	20
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	39	56	59	3	20
前 期 繰 越 金	67	69	69	0	2
当 期 未 処 分 剰 余 金	107	125	129	4	22

28年3月期「決算」の見込

貸借対照表

【資産の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 27年3月	(B) 今期予算 28年3月	(C) 今期予想 28年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(資産の部)					
現 金	532	530	530	0	▲ 2
預 け 金	13,228	12,357	14,437	2,080	1,209
有 価 証 券	2,864	3,311	2,796	▲ 515	▲ 68
貸 出 金	16,141	16,363	16,850	487	709
そ の 他 資 産	168	255	240	▲ 15	72
有 形 固 定 資 産	405	389	394	5	▲ 11
無 形 固 定 資 産	4	2	2	0	▲ 2
繰 延 税 金 資 産	0	5	5	0	5
債 務 保 証 見 返	53	53	47	▲ 6	▲ 6
貸 倒 引 当 金	▲ 780	▲ 817	▲ 641	176	139
資産の部合計	32,618	32,448	34,660	2,212	2,042

【負債の部ならびに純資産の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 27年3月	(B) 今期予算 28年3月	(C) 今期予想 28年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
(負債の部)					
預 金 積 金	30,375	30,380	30,600	220	225
借 用 金	0	0	2,000	2,000	2,000
そ の 他 負 債	57	58	52	▲ 6	▲ 5
各 種 引 当 金 等	59	60	57	▲ 3	▲ 2
繰 延 税 金 負 債	64	0	0	0	▲ 64
債 務 保 証	53	53	47	▲ 6	▲ 6
負債の部合計	30,610	30,551	32,756	2,205	2,146
(純資産の部)					
出 資 金	415	415	415	0	0
利 益 剰 余 金	1,408	1,482	1,489	7	81
利 益 準 備 金	412	415	415	0	3
そ の 他 利 益 剰 余 金	995	1,067	1,074	7	79
当 期 未 処 分 剰 余 金	175	157	164	7	▲ 11
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	184	0	0	0	▲ 184
純資産の部合計	2,008	1,897	1,904	7	▲ 104
負債及び純資産の部合計	32,618	32,448	34,660	2,212	2,042

損益計算書

【損益の部】

(単位：百万円)

科 目	(A) 前期実績 27年3月	(B) 今期予算 28年3月	(C) 今期予想 28年3月	予算対比 [(C) - (B)]	実績対比 [(C) - (A)]
経 常 収 益	611	591	601	10	▲ 10
資金運用収益	556	558	567	9	11
貸出金利息	446	461	462	1	16
預け金利息	47	29	34	5	▲ 13
有価証券利息配当金	57	64	65	1	8
その他の受入利息	4	4	4	0	0
役務取引等収益	32	32	32	0	0
その他業務収益	2	1	1	0	▲ 1
国債等債券売却益	0	0	0	0	0
その他の業務収益	2	1	1	0	▲ 1
その他経常収益	20	0	0	0	▲ 20
経 常 費 用	502	503	506	3	4
資金調達費用	11	10	11	1	0
預積金利息	11	10	10	0	▲ 1
借用金利息	0	0	1	1	1
役務取引等費用	32	34	33	▲ 1	1
その他業務費用	0	0	0	0	0
経 費	447	437	441	4	▲ 6
人 件 費	266	270	271	1	5
物 件 費	176	162	165	3	▲ 11
税 金	5	5	5	0	0
その他経常費用	11	22	19	▲ 3	8
貸倒引当金繰入額	0	20	17	▲ 3	17
その他の経常費用	2	2	2	0	0
経 常 利 益	108	88	95	7	▲ 13
特 別 利 益	0	0	0	0	0
特 別 損 失	0	0	0	0	0
税引前当期純利益	108	88	95	7	▲ 13
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	0	0
法人税等調整額	0	0	0	0	0
当 期 純 利 益	107	88	95	7	▲ 12
前期繰越金	67	69	69	0	2
当 期 未 処 分 剰 余 金	175	157	164	7	▲ 11

当組合のガバナンス強化の取組

当組合では、組合員の代表である総代の機能を強化し、組合員の声を経営に反映させる仕組みを整備し、経営の情報開示の充実と、総代地区会議等の活用により、その都度、組合員の声を聞き、開かれた組合経営に努めてまいりました。

●当組合の具体的な取組実績

1. 役員に関する実績

- 1) 平成16年6月より「員外監事」を1名選任している
- 2) 平成17年6月より「常勤監事」を1名選任している
- 3) 平成18年6月に「理事の定数」を12名から10名へ2名削減している
- 4) 平成21年6月より地区理事5名を職員外（総代）より選出している
- 5) 平成27年6月より「女性役員（非常勤監事）」を1名選任している

2. 総代に関する実績

- 1) 「総代地区会議」を年2回定期開催している
- 2) 平成18年6月に全国初の「女性総代」を誕生させた
- 3) 平成18年11月、21年6月、23年11月に総代の研修会を実施した
- 4) 平成21年6月に「総代の定年制」を規定化、上限を75歳とした
- 5) 平成27年6月の総代選出にあたり構成を組合員構成比に近付けた

3. その他の実績

- 1) 平成16年4月より外部監査として「監査法人」を選任している
- 2) 平成23年11月に非常勤役員、総代、信栄会員への研修会を実施した
- 3) 平成27年7月に非常勤役員を全信中協主催の専門研修会へ派遣した

石打支店「新築計画」

●「石打支店新築検討委員」について

*委員長	理事長	小野澤 一成
*副委員長	常勤理事	高橋 清隆
	地区選出理事	林 茂一
*事務局長	石打支店長	上村 亨
*委員	常勤監事	上村 一也
	石打地区総代	外谷 光雄
	石打信栄会会長	山崎 四郎
	地区選出前理事	富所 清治

●委員会の機能と報告

委員会においては「検討」機能を有し、その検討した結果を理事会へ報告し決定は、理事会において行うものとします。

●今後のスケジュールについて

平成27年11月 5日	図面完了	平成28年 1月12日	入札案内送付
平成27年11月20日	積算・設計完了	平成28年 2月 1日	入札
平成27年12月14日	入札希望者説明会	平成28年 2月10日	業者決定
平成27年12月20日～22日	入札参加者申込		

「窓口開店時間」の変更

●平成27年4月1日(水)より実施中

○当組合の窓口営業時間

実施日	開店時間	閉店時間	実施期間
平日の水曜以外	8時30分	16時30分	夏以外の期間
毎週水曜日	8時30分	19時00分	夏以外の期間
サマータイム期間中	8時30分	16時30分	6月～9月の期間
サマータイム水曜日	8時30分	19時00分	6月～9月の期間

※開店時間は1年中「8時30分」で統一しています
 ※閉店時間は30分延長して「16時30分」としています

●平成28年4月1日(金)より「予定」

○当組合の窓口営業時間

実施日	開店時間	閉店時間	実施期間
平日の水曜以外	8時30分	17時00分	一年中の期間
毎週水曜日	8時30分	19時30分	一年中の期間

※「閉店時間」は30分延長して「17時00分」とします
 ※水曜日の「閉店時間」は30分延長して「19時30分」とします
 ※平成21年に導入した「サマータイム勤務」を廃止します

●平成29年4月3日(月)より「検討中」

○当組合の窓口営業時間

2018年(平成30年)に予定されている、為替の24時間、365日稼動に先駆けて、月曜から金曜までの平日を「8:30～19:30まで」開店し、為替を含めた預金と貸出の窓口業務に対応することを検討しています

実施日	開店時間	閉店時間	実施期間
すべての平日	8時30分	19時30分	一年中の期間対応



信栄会合同特別講演会・講師 高野孝子様

営業店の状況報告

■全店合計の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高(注1)	30,433 百万円	30,505 百万円	30,807 百万円
対前期増減	0 百万円	72 百万円	302 百万円
貸出金・期末残高	15,099 百万円	15,841 百万円	17,020 百万円
対前期増減	▲251 百万円	742 百万円	1,179 百万円
融資取引先数(注2)	2,160 先	2,228 先	2,261 先
対前期増減	16 先	68 先	33 先
証書貸付実行金額	1,077 百万円	1,641 百万円	1,914 百万円
対前期増減	322 百万円	564 百万円	273 百万円
年金友の会・会員数	2,749 人	2,742 人	2,747 人
対前期増減	23 人	▲7 人	5 人
窓口相談強化日来店数	362 人	431 人	539 人
対前期増減	- 人	69 人	108 人

(注1) 預積金・期末残高は、本部を含む。

(注2) 融資取引先数は「割引手形」「手形貸付」「証書貸付」の先数(代理貸、当座貸越を除く)

■本店の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高	10,378 百万円	10,400 百万円	10,579 百万円
対前期増減	132 百万円	22 百万円	179 百万円
貸出金・期末残高	6,199 百万円	5,976 百万円	6,120 百万円
対前期増減	▲3 百万円	▲223 百万円	144 百万円
融資取引先数	621 先	611 先	594 先
対前期増減	▲23 先	▲10 先	▲17 先
証書貸付実行金額	411 百万円	430 百万円	370 百万円
対前期増減	253 百万円	19 百万円	▲60 百万円
年金友の会・会員数	1,021 人	1,023 人	1,019 人
対前期増減	6 人	2 人	▲4 人
窓口相談強化日来店数	71 人	98 人	109 人
対前期増減	- 人	27 人	11 人

■石打支店の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高	6,407 百万円	6,262 百万円	6,069 百万円
対前期増減	▲61 百万円	▲145 百万円	▲193 百万円
貸出金・期末残高	2,839 百万円	2,991 百万円	2,950 百万円
対前期増減	▲170 百万円	152 百万円	▲41 百万円
融資取引先数	294 先	290 先	288 先
対前期増減	0 先	▲4 先	▲2 先
証書貸付実行金額	141 百万円	205 百万円	168 百万円
対前期増減	0 百万円	64 百万円	▲37 百万円
年金友の会・会員数	597 人	577 人	554 人
対前期増減	5 人	▲20 人	▲23 人
窓口相談強化日来店数	60 人	46 人	85 人
対前期増減	- 人	▲14 人	39 人

■五日町支店の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高	5,720 百万円	5,810 百万円	5,964 百万円
対前期増減	15 百万円	90 百万円	154 百万円
貸出金・期末残高	1,904 百万円	2,243 百万円	2,523 百万円
対前期増減	15 百万円	339 百万円	280 百万円
融資取引先数	461 先	473 先	487 先
対前期増減	16 先	12 先	14 先
証書貸付実行金額	233 百万円	348 百万円	478 百万円
対前期増減	70 百万円	117 百万円	130 百万円
年金友の会・会員数	477 人	474 人	468 人
対前期増減	▲ 5 人	▲ 3 人	▲ 6 人
窓口相談強化日来店数	111 人	117 人	123 人
対前期増減	－ 人	6 人	6 人

■津南支店の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高	5,442 百万円	5,484 百万円	5,645 百万円
対前期増減	▲ 71 百万円	42 百万円	161 百万円
貸出金・期末残高	2,229 百万円	2,443 百万円	2,628 百万円
対前期増減	▲ 88 百万円	214 百万円	185 百万円
融資取引先数	408 先	420 先	429 先
対前期増減	▲ 8 先	12 先	9 先
証書貸付実行金額	141 百万円	277 百万円	371 百万円
対前期増減	42 百万円	136 百万円	94 百万円
年金友の会・会員数	461 人	452 人	460 人
対前期増減	8 人	▲ 9 人	8 人
窓口相談強化日来店数	41 人	93 人	122 人
対前期増減	－ 人	52 人	29 人

■小出郷支店の状況報告

	25年9月末	26年9月末	27年9月末
預積金・期末残高	2,209 百万円	2,300 百万円	2,408 百万円
対前期増減	48 百万円	91 百万円	108 百万円
貸出金・期末残高	1,926 百万円	2,187 百万円	2,799 百万円
対前期増減	5 百万円	261 百万円	612 百万円
融資取引先数	376 先	434 先	463 先
対前期増減	31 先	58 先	29 先
証書貸付実行金額	151 百万円	381 百万円	527 百万円
対前期増減	▲ 43 百万円	230 百万円	146 百万円
年金友の会・会員数	193 人	216 人	246 人
対前期増減	9 人	23 人	30 人
窓口相談強化日来店数	79 人	77 人	100 人
対前期増減	－ 人	▲ 2 人	23 人

当組合のコンサルティング機能の発揮

「家計のレスキュー隊」機能

ローンのお申込時に無料で「家計診断」を行っております。当組合の職員は、家計費の支出を詳細に把握し、お金を貯められるように支援する「家計のレスキュー隊」です。

定期的連絡システム

ローンをご利用いただいたお客様へ、定期的にご連絡させていただきます。お客様のライフスタイルの変化に合わせて、適切なアドバイスをさせていただきます。

事業再生支援

売上向上策や後継者問題など、お客様が抱えている諸問題について、一緒に解決策を探していきます。最後までお付き合いするのが塩沢信用組合の信条です。

創業・新事業支援

地域活性化のために創業・新事業支援に取り組んでまいります。当組合のノウハウを駆使してコンサルティングを行います。

新規優良企業向け貸出

当組合の収益状況は安定しており、地元企業への低利融資も可能な状況です。これまでお取引の無かった企業様も積極的に訪問していきます。



全店ロープレ大会

当組合の最近の主な取組みについて

●平成27年7月20日「特殊詐欺・交通安全研修」実施

南魚沼警察をお招きし、特殊詐欺防止と交通安全に関する講話を実施致しました。

●平成27年10月17日～18日「復興支援役職員旅行・義捐金贈呈式」実施

宮城県信用組合協会を通じて、台風18号により甚大な被害のあった古川信用組合へ義捐金を贈呈。また東日本大震災の被災地石巻・女川を石巻商工信用組合の木村理事長様・丹野常務理事様のご案内で視察して参りました。

●平成27年10月19日「高野孝子講演会」実施

旧塩沢町出身の高野孝子様より信栄会合同特別講演会を実施して頂きました。

●平成27年10月27日～29日「札幌学院大学講演会・北央信用組合との情報交換」実施

札幌学院大学の講義の中で、小野澤理事長より講演会を実施致しました。また北海道の北央信用組合と有意義な情報交換を実施して参りました。



魚沼の

塩沢信用組合

<http://www.shiozawa.shinkumi.jp/>

本 しんくみセンター	〒949-6408	南魚沼市塩沢1221番地4	025-782-1201(代)
本 店	〒949-6408	南魚沼市塩沢1198番地	025-782-1151(代)
石 打 支 店	〒949-6371	南魚沼市関1124番地1	025-783-2962(代)
五 日 町 支 店	〒949-7101	南魚沼市五日町387番地1	025-776-2691(代)
津 南 支 店	〒949-8201	中魚沼郡津南町大字下船渡戊543番地3	025-765-3125(代)
小 出 郷 支 店	〒946-0076	魚沼市井口新田547番地15	025-792-7766(代)

発行 平成27年11月